

2025・3・2 【全然堂歳時記 春】 [薄氷] take-1 選43句

17行3段組14ボ 2025年3月2日 05:43 ~1~ 桐10

うすらひのうすらわらひの水たまり
うすらひの薄さうす氷の厚さ
うすら氷が消えて明るい水たまり
うすら氷でありたることも忘れけり
うすら氷と水の葛藤滲みつつ
うすら氷に手を貸すことも出来ぬまま
うすら氷に雪の白さはなかりけり
うすら氷のうち重なりて壊れけり
うすら氷のすべてはもとの水たまり
うすら氷のちかくを水のとほりけり
うすら氷のぱりぱり乾く水たまり
うすら氷のもうもやもやの水たまり
うすら氷の影にも差してゐる日かな
うすら氷の解けてもやもやしたる
うすら氷の解けてもわつとしてゐたる
うすら氷の割れても水に沈まざる

うすら氷の時々刻々や流れつつ
うすら氷はうす氷よりなほうすべく
うすら氷は初めてと云ふ水の様
うすら氷も水も乾いてなくなりぬ
うすら氷や水に浮きつつ水となる
うすら氷や魔法が解けてゆくやうに
うすら氷や眩しくなれば目をつむり
うすら氷を見てやる他に術もなし
うすら氷を二枚重ねにしてやりぬ
うすら氷を柄杓で除けて漱ぐ
さざ波のうすら氷となる闇夜かな
もやもやのやがてうやむや薄氷
やすらかにうすら氷うかぶ日蔭かな
飴玉は舌のなすまま春氷

[老湯ちこ父母の上に教ひあひよ
よつ方にふきえにただめかぬ
2025.3.2 3:35 am

3:38 am
3:38 am
15:25

3:39
13:39

厚氷

2025・3・3 【全然堂歳時記 春】
【うすい氷】 take-2 全142句

行3段組14示2025年3月3日16:40↑1桐10

うすら氷のまだもやもやとしてゐたる
うすら氷のすべてはもとの水たまり
うすら氷を一枚重ねにしてやりぬ

うすら氷の時々刻々を流れつつ
うすら氷のちかくを水のとほりけり

透明な瘡蓋状の薄氷
うすら氷や呪文が解けてゆくやうに
の半透明
11~44mm

うすら氷でありたることも忘れつつ
3:48 8:12 am

うすら氷も水も乾いてなくなりぬ

うすら氷の解けてもわつとしてゐたる
流されの旅は短し薄氷

薄氷や切株の上を滑り落つ

150m/s 3.8
255cm

うすら氷のめそめそとある日向かな
とけなくなつた
ひびき

薄氷は日当る場所を得たりけり

餠玉は舌のなすまま春氷
うすら氷に手を貸すことも出来ぬまま

うすら氷を柄杓で除けて漱ぐ

うすら氷の影にも差してゐる日かな

やすらかにうすら氷うかぶ日蔭かな

うすら氷の針を集めし如きあり

うすら氷や眩しくなれば目をつむり

解けやすきものにうすら氷花結び

うすら氷が消えて明るい水たまり

うすら氷はうす氷よりなほうすべ

うすら氷と水の葛藤滲みつつ

うやむやに消えてしまひし薄氷